

高木伐倒事例報告

コナラの大径木研修会報告

とき：平成25年1月30日（水）

ところ：伊賀市白樫

参加者：池田会長、山田さん、渡辺さん、長谷さん、服部
齋治さん、石塚さん、宮田さん、川勝さん、湯浅の計9名

現地参加者：山の地主の武岡さんご夫妻

今回、武岡さんの依頼に伴い、コナラの大径木の伐採作業をいたしました。

直径約76センチ、高さ約23メートルの70年生コナラの大木です。

定時集合のもと、現地武岡宅で挨拶及び打ち合わせ、その後現地へ出向き、倒木する木について詳細打ち合わせ及び安全対策の確認、作業担当者の役割分担を確認のうえ作業開始しました。

さすがの大物、倒木時にはその風圧を体で感じる事が出来ました。

メインの執刀師？は石塚氏、重心との相関関係で慎重且つ切り手と引っ張り手の絶妙なコンビネーションにより、寸分の狂いも無く伐倒することが出来ました。

その後枝葉の処理、椎茸のホダ木用の枝や、薪用の材としての選別作業をしました。

今回は、障害物が無いとは言え、相当の大径木でもあり、一つの研究課題及び、各人の倒木に対するレベルアップという位置づけのもと企画、実行いたしました。

武岡夫妻のおもてなしや、場所を提供いただいた御礼と、安全作業に対する反省会、キノコに対する武岡氏のレクチャーを交え充実した作業をすることが出来たことを報告いたします。

また、武岡氏は我々が伐採をしたコナラに椎茸筋を打っていただき収穫が出来れば連絡いただける確約もいたしました。

一本の木に対しても一生懸命、安全確実に処理をすることの大切さを確認し、皆が声を掛け合い基本を忠実に励行した実りのある研修会を実地したことを報告いたします。

湯浅 記

